



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月10日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,539	3.4	61	△39.6	30	9.9	20	38.2
2026年3月期第1四半期	2,456	△6.6	101	47.2	27	—	14	421.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.27	—
2026年3月期第1四半期	0.93	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	12,794	4,970	38.8	308.48
2026年3月期	12,817	4,999	39.0	310.29

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 4,970百万円 2026年3月期 4,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年8月10日）公表いたしました「2027年3月期 通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	17.4	350	2.5	250	94.8	160	△45.7	9.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2026年8月10日）公表いたしました「2027年3月期 通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	16,623,613株	2026年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	510,602株	2026年3月期	510,602株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	16,113,011株	2026年3月期1Q	16,062,017株

- (注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（当第1四半期累計期間510,483株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（四半期累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当第1四半期累計期間510,483株）を控除して算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における世界経済は、アメリカ及びイスラエルによるイラン攻撃に端を発したホルムズ海峡の事実上の封鎖により、ナフサの供給不安が顕在化して価格も急騰し、各国の経済活動自体にも深刻な影響を及ぼすなど、大きな混乱を来しました。わが国経済についても、海峡封鎖の長期化により、特に、ナフサ価格の高騰や調達不足の影響を受けるとともに、需要動向についても、先行きが非常に不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の中、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要動向の停滞感はずつとつもの、本会計期間におけるホルムズ海峡封鎖による業績影響は顕著には表れませんでした。一方、ナフサの供給不安により、原材料価格については、価格高騰の顕著な動きがありました。当社においても、受注の大きな落ち込みはなく、主力製品においては先行発注の動きもあり、売上高全体では増収となりました。一方で、利益面では、海峡封鎖の影響による価格転嫁の取り組みを進めたものの、急激な原材料価格高騰の影響をすべてカバーするには至らず、厳しい状況で推移しました。

具体的な当第1四半期累計期間における当社の売上高は、化学品事業では、紫外線吸収剤において先行発注があったほか、その他製品分野でも販売強化に努め、受託製造製品等の減収をカバーし、事業全体として増収となりました。ホーム産業事業では、各種製品の拡販に努めたものの、木材保存薬剤及び工事受注の減少により前年同四半期を下回りました。結果、売上高全体では、前年同四半期比82百万円増の2,539百万円（前年同四半期比3.4%増）で着地いたしました。利益面では、増収に加え、価格改定の取り組みをすすめたものの、特に、直近の原材料価格高騰の影響を受けたことに加え、システム導入による減価償却費の増加などによる販売費及び一般管理費の増加が、利益を押し下げ、営業利益は61百万円（同39.6%減）となりました。一方、営業外費用に計上している生産休止費用について、受託製造製品の取り込みにより一部工場の稼働率が改善したことなどから、前年同四半期から48百万円減となる8百万円の計上に留まり、経常利益は30百万円（同9.9%増）となりました。税引前四半期純利益は、特別損益の計上はなく、経常利益と同額の30百万円（同9.9%増）、四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税が17百万円、法人税等調整額が△7百万円となり20百万円（同38.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同四半期比115百万円増の1,268百万円（前年同四半期比10.0%増）となった他、酸化防止剤が同51百万円増の298百万円（同20.9%増）、電子材料が同9百万円増の21百万円（同82.1%増）となる一方で、受託製造製品が同49百万円減の539百万円（同8.4%減）、製紙用薬剤が同31百万円減の59百万円（同35.0%減）、写真薬中間体が同11百万円減の54百万円（同17.9%減）となり、全体では同89百万円増の2,261百万円（同4.1%増）となりました。

(ホーム産業事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比1百万円減の226百万円（前年同四半期比0.4%減）、その他が同5百万円減の50百万円（同10.2%減）となったことから、全体では同6百万円減の277百万円（同2.4%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円，%)

セグメント別	期別 区分	前第1四半期累計期間 2026年3月期		当第1四半期累計期間 2027年3月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	1,153,254	46.9	1,268,763	50.0	115,509
	写真薬中間体	66,525	2.7	54,612	2.2	△11,913
	製紙用薬剤	91,413	3.7	59,432	2.3	△31,981
	酸化防止剤	246,923	10.1	298,447	11.8	51,523
	電子材料	11,878	0.5	21,634	0.9	9,755
	受託製造製品	589,190	24.0	539,542	21.2	△49,647
	その他	13,124	0.5	19,121	0.7	5,996
	(小計)	2,172,311	88.4	2,261,554	89.1	89,243
ホーム産業事業	木材保存薬剤	227,724	9.3	226,711	8.9	△1,013
	その他	56,712	2.3	50,931	2.0	△5,780
	(小計)	284,436	11.6	277,642	10.9	△6,794
合 計		2,456,748	100.0	2,539,197	100.0	82,449

(注) 金額には、消費税等を含んでおりません。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期末（以下「当四半期末」という。）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という。）比22億円減少し、12,794百万円となりました。流動資産は同47百万円減少の7,583百万円、固定資産は同24百万円増加の5,211百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が394百万円、商品及び製品が294百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が326百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加の主な要因は、ソフトウェアが145百万円、投資有価証券が45百万円それぞれ増加した一方で、ソフトウェア仮勘定が153百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は前期末比6百万円増加し7,824百万円となりました。流動負債は同196百万円増加の5,492百万円、固定負債は同189百万円減少の2,332百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が254百万円増加した一方で、未払法人税等が82百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が190百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は前期末比29百万円減少し、4,970百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、四半期純利益を20百万円計上した一方で、配当金の支払83百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が33百万円増加したことなどでありあります。この結果、自己資本比率は38.8%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、ホルムズ海峡封鎖の解除が合意され、各国経済政策や企業の対応などについても一定の落ち着きがみられてきています。しかしながら、アメリカによるイランへの軍事行動は続いており、依然として予断を許さない状況が続き、先行き不透明感の払拭にはいたっておりません。このような状況下、当社を取り巻く事業環境も同様に厳しく、今後の業績に大きく影響を及ぼす可能性があるものの、当第1四半期累計期間の業績は、前年同四半期に対して、増収増益基調で推移しました。また、直近の需要動向についても、ホルムズ海峡封鎖による甚大な影響は見られておらず、今後についても、先行発注分の反動減などの影響は予想されるものの、徐々に需要面での不安なども解消されるものと想定しています。加えて、年度後半にかけ、主力製品をはじめとする各種製品について、販売強化を推進して参ります。一方、利益面については、引き続き各種コストの低減に努め、価格転嫁の取り組みも進めるものの、製品価格は、早期に値戻しの動きに移行する一方、高騰した原材料価格は、当面、高止まりが続くことが予想され、収益を圧迫すると思われます。

これらを踏まえ、2027年3月期通期業績については、売上高10,500百万円、営業利益350百万円、経常利益250百万円、当期純利益160百万円となる予想であります。

なお、本業績予想は、特に年度後半にかけ、直近のホルムズ海峡封鎖の影響が払拭され、経済活動自体が正常化することを前提としております。また、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき策定したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,024	1,999,684
受取手形及び売掛金	2,116,851	1,722,620
電子記録債権	42,248	51,045
商品及び製品	2,951,965	2,657,867
仕掛品	54,482	70,334
原材料及び貯蔵品	663,780	921,569
その他	129,285	160,973
貸倒引当金	△434	△357
流動資産合計	7,631,202	7,583,737
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	871,389	895,056
土地	2,856,882	2,856,882
その他（純額）	910,013	884,861
有形固定資産合計	4,638,285	4,636,800
無形固定資産		
ソフトウェア	19,422	164,422
ソフトウェア仮勘定	153,975	—
その他	7,979	7,979
無形固定資産合計	181,377	172,402
投資その他の資産		
投資有価証券	210,743	255,947
その他	169,901	159,838
貸倒引当金	△13,824	△13,734
投資その他の資産合計	366,819	402,051
固定資産合計	5,186,482	5,211,255
資産合計	12,817,685	12,794,992

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,796	1,130,814
電子記録債務	464,930	451,384
短期借入金	2,250,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	965,000	910,000
未払法人税等	100,530	18,446
賞与引当金	99,403	150,965
その他	539,613	580,781
流動負債合計	5,296,274	5,492,392
固定負債		
長期借入金	1,667,500	1,477,500
退職給付引当金	611,943	614,645
従業員株式給付引当金	12,497	14,048
その他	229,801	225,881
固定負債合計	2,521,741	2,332,075
負債合計	7,818,015	7,824,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,832,295	1,769,713
自己株式	△174,341	△174,341
株主資本合計	4,874,019	4,811,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,650	159,087
評価・換算差額等合計	125,650	159,087
純資産合計	4,999,669	4,970,524
負債純資産合計	12,817,685	12,794,992

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	2,456,748	2,539,197
売上原価	2,086,243	2,199,639
売上総利益	370,504	339,558
販売費及び一般管理費	268,732	278,134
営業利益	101,771	61,424
営業外収益		
受取利息	14	19
受取配当金	3,496	1,895
受取賃貸料	1,800	1,800
その他	1,944	1,373
営業外収益合計	7,256	5,088
営業外費用		
支払利息	20,857	23,884
生産休止費用	57,836	8,940
賃貸収入原価	114	114
その他	2,686	3,301
営業外費用合計	81,494	36,241
経常利益	27,532	30,270
税引前四半期純利益	27,532	30,270
法人税、住民税及び事業税	17,832	17,287
法人税等調整額	△5,161	△7,551
法人税等合計	12,670	9,735
四半期純利益	14,862	20,534

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
（単位：千円）

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	1,153,254	—	1,153,254
写真薬中間体	66,525	—	66,525
製紙用薬剤	91,413	—	91,413
酸化防止剤	246,923	—	246,923
電子材料	11,878	—	11,878
受託製造製品	589,190	—	589,190
木材保存薬剤	—	227,724	227,724
その他	13,124	56,712	69,837
顧客との契約から生じる収益	2,172,311	284,436	2,456,748
外部顧客への売上高	2,172,311	284,436	2,456,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,172,311	284,436	2,456,748
セグメント利益	212,876	12,168	225,044

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	225,044
全社費用（注）	△123,272
四半期損益計算書の営業利益	101,771

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
（単位：千円）

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	1,268,763	—	1,268,763
写真薬中間体	54,612	—	54,612
製紙用薬剤	59,432	—	59,432
酸化防止剤	298,447	—	298,447
電子材料	21,634	—	21,634
受託製造製品	539,542	—	539,542
木材保存薬剤	—	226,711	226,711
その他	19,121	50,931	70,052
顧客との契約から生じる収益	2,261,554	277,642	2,539,197
外部顧客への売上高	2,261,554	277,642	2,539,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,261,554	277,642	2,539,197
セグメント利益	185,350	14,381	199,731

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	199,731
全社費用（注）	△138,307
四半期損益計算書の営業利益	61,424

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	82,857千円	83,322千円